

平成27年4月30日

亀岡市議会議長 西口 純生 様

議会運営委員会委員長 堤 松男

### 委員会調査報告書

当委員会で調査した事件の調査結果について、下記のとおり報告します。

#### 記

- 1 派遣期間 平成27年4月16日(木)・17日(金)
- 2 派遣場所 三重県四日市市議会及び石川県加賀市議会
- 3 事 件 (四日市市議会)  
議会機能の強化について、市民参加の拡充について  
(加賀市議会)  
議会基本条例の検証について、予算、決算審査について  
市民参加の拡充について
- 4 視察者 (派遣委員) 堤松男、藤本弘、田中豊、小松康之、福井英昭  
湊泰孝、石野善司  
(派遣議員) 西口純生議長、齊藤一義副議長  
(事務局随員) 藤村局長、鈴木議事調査係長
- 5 概 要 別紙のとおり

## 議会運営委員会調査結果概要

<p>三重県四日市市議会（平成 27 年 4 月 16 日（木）10:20～11:50）</p> <p>議会の活性化について</p> <p>（１）議会機能の強化について</p> <p>（２）市民参加の拡充について</p>
<p>1 視 察 の 目 的</p>
<p>（１）四日市市議会においては、2014 議会改革度ランキング 1 位であり、高い水準で改革を進められ、通年議会の実施や議員政策研究会において政策立案機能の向上を図られるなど議会機能の強化に取り組まれており、積極的に立案機能が発揮できる仕組み等を参考にする。</p> <p>（２）市議会モニターにも取り組まれるなど、市民参加の拡充の有効性を学ぶ。</p>
<p>2 施 策 等 の 概 要</p>
<p>通年議会</p> <p>&lt;経緯&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・近年の地方分権の進展を受けてさらなる議会改革を目指し議会基本条例を制定。</li><li>・議会基本条例制定時において新たな取り組みとして通年議会を実施。</li></ul> <p>&lt;通年議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・概ね 5 月から翌年 4 月末までが 1 年間の会期。</li></ul> <p>&lt;実施後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・休会中の場合、災害等の突発事件や緊急性のある課題や専決処分を行っていた事件は、原則として議長権限で臨時議会を開催し審議する。</li><li>・会議が増え議員の負担も増えたが兼業議員への特段の配慮は行っていない。</li><li>・1 年間の会期を通じ、委員会所管事項に関する調査研究を実施。</li><li>・執行部の出席は最小限にとどめるとともに委員間討議に努める。</li></ul> <p>議員政策研究会</p> <p>&lt;経過&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市政課題について、議員だけで自主的に意見交換、情報交換を行う場として設置。</li><li>・当初は市政活性化推進等議員懇談会として実施。</li><li>・議員が提出を予定している議案について、事前に議員間の調整を行う場として活用。</li></ul>

- ・平成17年度に議員政策研究会に改編。

#### <議員政策研究会>

- ・政策立案機能のさらなる向上に資するため市政活性化推進等議員懇談会の発展的組織として設置。
- ・全議員が一堂に会して意見交換を行う。
- ・用途に合わせて分科会を設置。

(例) 議会基本条例分科会(定員20人)、市民協働促進条例分科会(18人)、既存集落の維持に向けた市街化調整区域の規制緩和を目指す分科会(定員18人)等

#### <実施後>

- ・議員提案による政策条例を制定(改正を含む12件の条例制定)。

#### 市議会モニター

#### <経過>

- ・会派代表者会議にて導入を議論。
- ・議会基本条例制定時において、議会への市民参加の取り組みとして設置。
- ・従来の推薦に加え公募による募集を開始。

#### <市議会モニター>

- ・市議会モニターの定員は50人程度。18歳以上の市民等の要件がある。
- ・地区ごとにモニターを推薦依頼。一般公募とあわせ大学に推薦依頼。
- ・本会議、委員会等を可能な限り傍聴し、意見を文書で提出。
- ・ケーブルテレビにて本会議等を視聴し、意見を文書で提出。
- ・研修会等にも出席し、意見を述べる。
- ・無報酬としているが、記念品を贈呈。

#### <実施後>

- ・議会モニターからの意見により委員会傍聴の出入りを自由にした。
- ・委員会については傍聴者は増加した。

#### その他

- ・専門的知見の活用(議案や四日市の事務に関する調査)を積極的に依頼。「調査業務委託」の予算は平成27年度で150万円)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年議会、予算・決算の常任委員会については今後検討。</li> </ul>
<h3>3 考 察</h3>
<p>通年議会及び予算・決算常任委員会についてはメリット・デメリット、また、議員間の温度差もあり本市でも研究する必要がある。</p> <p>議会報告会は、四日市市議会でも参加者が少ないので本市議会においてもより多くの市民が参加できる手法を考える必要がある。</p>
<h3>4 委 員 の 意 見 等</h3>
<p>&lt;通年議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に常任委員会を数多く開催されているなど、実質的に稼働していることが参考になった。</li> <li>・議論をつくし今後検討していきたい。</li> </ul> <p>&lt;議員政策研究会（議員の政策立案）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市議会でも議会基本条例にもあるとおり議員の政策立案能力の向上に取り組むことが必要である。</li> </ul> <p>&lt;市議会モニター制度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議論をする中で検討するべき。</li> </ul> <p>&lt;専門的知見の活用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査業務委託について、平成27年度で150万円を予算措置しており、本市でも「専門的知見の活用」を積極的に取り入れることの必要性（予算措置も含め）を感じた。</li> </ul> <p>&lt;議会報告会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四日市市議会では常任委員会ごとに開催されているが、参加者（市民）は議会全体の動きが分からないのではないかと思う。本市のように議会全体を報告する方が良いと感じた。市民参加を増やすことは大きな課題。</li> </ul> <p>&lt;予算・決算常任委員会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議論をする中で今後検討していきたい。</li> </ul>

石川県加賀市議会（平成 27 年 4 月 17 日（金）9:30～11:30）

議会の活性化について

- （１）議会基本条例の検証について
- （２）予算、決算審査について
- （３）市民参加の拡充について

## 1 視 察 の 目 的

- （１）本市議会においては議会基本条例を制定しており、同じく基本条例を制定し「日本一の議会」を目指している加賀市議会における取り組みや考え方を学ぶ。
- （２）予算、決算審査において議論を充実させるため予算、決算常任委員会での議案審査を目指す取り組みを学ぶ。
- （３）子ども議会等市民参加型の各種議会を実践するとともに、議会報告会等において市民参加型の取り組みを充実している内容について参考にする。

## 2 施 策 等 の 概 要

議会基本条例の検証

<経過>

- ・平成 23 年 4 月に議会基本条例を施行。
- ・平成 26 年 3 月に検証を実施。

<議会基本条例の検証（事例）>

- ・各会派の理念・政策を市民に分かりやすく伝えることについて。
- ・文書質問の取り扱いについて。
- ・常任委員会ごとでの研修会の実施について。
- ・委員会等で各種団体との意見交換の実施について。
- ・議会としての講演会や研修会等の市民公開について。
- ・意見書の陳情等について市民からの請願として正式に審議することについて。
- ・議案に対する公聴会の開催。

予算、決算審査

<実施状況>

- ・従来は各常任委員会に分割付託。
- ・平成27年3月に予算常任委員会を設置し付託。
- ・議場での総括質疑を実施している。
- ・今後、予算・決算常任委員会への移行を検討。

市民参加の拡充

<実施状況>

- ・分かりやすい議会を目指す為、議場に加賀市特産の九谷焼を展示。また、能楽の上演を実施。
- ・小学生議会傍聴を実施。女性議会、子ども議会を実施。日曜議会を実施。

その他

- ・タブレット端末の導入。
- ・「市民主役条例（自治基本条例）」を策定（平成24年4月施行）。
- ・大学との連携協定の締結。
- ・他市議会との議員連盟を設立。

### 3 考 察

- ・大学連携の取り組みを活発に行っており、取り入れられるかの検討を図るべき。
- ・通年議会（加賀市議会は未導入）についてはメリット・デメリット、また、議員間の温度差もあり本市でも研究する必要がある。

### 4 委員の意見等

<市民参加の拡充>

- ・子どもたちが参加することで、子どもはもとより保護者等へ市議会のPRにつながる。本市議会でもぜひとも成功させたい。

<大学との連携>

- ・大学との連携により専門家等の参考人誘致をスムーズにできており参考としたい。

<その他>

- ・政務活動費については、加賀市議会等他市議会の支給額の基準は高く、本市議会においても今後の政務活動のあり方と金額について検討すべき。